ガラス工作技術シンポジウム参加報告

工作部門 ガラス・木材加工技術班 藤原雅志

1. はじめに（目的等）
ガラス工作技術者が日常業務で携わるガラス工作に関する加工技術、創意工夫の他、実験実習、地
域貢献などについて発表し、また、実技によりガラス加工技術の疑問や実習、依頼製作の問題などを参
加者同士が検証、検討することで技術、知識の共有、意見交換、または議論を行い、参加者同士の交流
を深めることを目的としている。

2. 期間・場所
期間 ： 令和 6 年 9 月 12 日～13 日
場所 ： 富山大学 理学部

3. 参加者等
大学、研究所、民間会社の理化学ガラスに携わる技術者及び研究者 43 名

4. 研修内容
ガラス実験装置・器具の製作方法、改良等の技術報告や、ガラス加工に必要とされる設備、治具等の
紹介、実習や地域貢献等の報告。
事前に募集したテーマについて、実際の作業を通して技術交流。

5. まとめと感想
 本会に参加し、多くのガラス技術者と交流する事ができた。採用されて間もない技術者も複数お
り、どんどん質問してくる彼らの学ぶ姿勢には目を見張るものがあった。中には前任者と期間が重
なっておらず、採用後に技術を学ぶ場所がないなど、明るい話題だけではなかった。
特に新採用者の教育についてはどこでも難しさを感じていて、今回発表された民間の技術者に指
導を受けた方は技術の向上が早く感じられ、どのような練習方法だったのか参加者は興味を持って
いた。
 2 日目は現場での技術交流で、加工機器の紹介や新たな技術の習得の場となった。普段見られな
い同業者の加工技術を身近に観察することができた。新しい発見もあり、加工の幅を広げていくた
めの良い刺激になった。